

佐川町長 堀見 和道 様
佐川町議会議員 永田 耕朗 様

高知県知事 尾崎 正直



新たな管理型産業廃棄物最終処分場の施設整備の受け入れについて（依頼）

貴町及び貴町議会におかれましては、日ごろから県行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、県が行う「新たな管理型産業廃棄物最終処分場」の取り組みに関しまして、貴町及び加茂地区自治会の皆様に、多大なご協力を賜っておりますことに重ねて厚くお礼申し上げます。

さて、県が新たな施設整備に向けて取り組んでいます管理型産業廃棄物最終処分場は、県内事業者の経済活動を下支えする施設であり、現施設のエコサイクルセンターが満杯になった時点で後継の施設ができていないとなれば、県民生活に多大な支障をきたすことが懸念されます。

このため、エコサイクルセンターの満杯の時期を見据え、リサイクルの推進などによる現施設の延命化に取り組むとともに、新たな施設整備に向けて長年検討を進めてきているところです。

しかしながら、現段階の予測によれば、エコサイクルセンターの現在の埋め立て状況が続けば、3 年 10 ヶ月後の令和 5 年 3 月末にも満杯となる見通しとなっている一方で、新たな施設の建設には、測量、地質調査、設計、各種許認可等の手続き、建設工事などに最低 4 年程度を要することから、新たな施設の完成時期は、最速でも、既に現施設の満杯となる見通しの時期を超えてしまっている状況にあります。

そうした中であっても、県としては、住民の皆様のご理解を第一として、皆様へのご説明を最優先に考え、説明会等の取り組みを重ねてきたところです。

昨年 2 月に選定された 3 箇所の最終候補地からの絞り込みに関しては、昨年の県議会 12 月定例会の提案説明の中で、佐川町加茂において進入道路を新設する案が最も有力ではないかと表明し、その後、県議会において一定のご理解を示していただきましたことから、定例会閉会后、県として正式に絞り込みを行い、その翌日には貴町に受け入れの申し入れをさせていただきました。

あわせて、加茂地区の皆様には絞り込みの時期や考え方を速やかにお伝えするため、昨年末に説明会を開催させていただきました。その際、住民の皆様からは、候補地選定に関するご質問や施設からの水漏れなどに関するご不安の声を数多く頂戴したところです。

このため、県としては、住民の皆様に寄り添いながら、誠意を持って対話を重ねさせていただくことを最優先に、本年2月には、改めて候補地選定の過程や施設の安全性などについて整理した資料を、加茂地区の各戸にお配りさせていただいた上で、加茂地区の4会場において、住民の皆様との「話し合いの場」を設けさせていただきました。

その後、話し合いの場にご参加いただけていない皆様にもご理解をいただけますよう、当日の説明資料を加茂地区の各戸にお配りさせていただきました。

加えて、佐川町内の加茂地区以外の4地区においても説明会を開催させていただきますとともに、エコサイクルセンターの見学会や最終候補地の現地見学会、加茂地区の住民の皆様から個別にお話しをお伺いする場などの取り組みも重ねさせていただいたところです。

さらに、住民の皆様のご不安やご心配の声にしっかりとお答えさせていただくため、本年5月にも、3巡目の取り組みとして、加茂地区の皆様との「話し合いの場」を設けさせていただき、将来も含めた施設の安全性や維持管理の体制、候補地選定の考え方、住民の皆様がご不安に思われる事項への対策、地域振興策などについて、精一杯お答えさせていただきました。加えて、再度、エコサイクルセンターの見学会や最終候補地の現地見学会、個別にお話しをお伺いする場なども設けてご説明を重ねさせていただいたところです。

このように、これまでの一連の取り組みにおいて、県として、その都度、できる限り丁寧な説明を行うよう心がけてまいりました。

結果として、5月の「話し合いの場」においては、2月の「話し合いの場」と比べて、施設の安全性などのご不安の声は大きく減少するとともに、その場でいただいたご心配の声にも県としては十分にお答えをさせていただいたものと考えております。また、その後の「個別にお話しをお伺いする場」においても、反対のご意向を明確に示された方はごくわずかに留まったところです。

このため、県としては、現時点では、皆様が抱いてこられた様々なご不安やご心配に対する県の説明に対し、一定のご理解が得られつつあるのではないかと受け止めております。

他方で、引き続き増水や地下の空洞の有無などのご不安の声も残っていることは深く受け止めておりますが、これらに対する対処策を詳細に検討し、皆様の不安をさらに解消していくためにも、建設予定地の個別の地形の状況等に対応した設計等の予算を伴う対応が必要です。

このように、私としては、現施設が満杯となる時期が迫っていること、施設整備の安全性についての一定のご理解が得られつつあること、残るご不安等の解消のためにも建設予定地を定めて詳細検討を行う必要があること、に鑑み「佐川町加茂」を新たな管理型産業廃棄物最終処分場の建設予定地として決定をさせていただきました。

これまで、貴町及び加茂地区自治会の皆様に、説明会の開催等に関し多大なご協力を賜ってきましたことに、重ね重ね厚くお礼申し上げます。

貴町及び貴町議会におかれましては、本件に関するご意向につきまして、ご回答賜りますようお願い申し上げます。誠に勝手ながら、先述のとりのエコサイクルセンターの現況に鑑みますと、早急な施設整備が喫緊の課題であることをご賢察いただき、できるだけ速やかにご回答いただければ幸甚に存じます。

今後、仮に有難くも受け入れの受諾をいただきましたならば、その後は、施設整備に向けた詳細な地質調査や基本設計等を進めていくこととなります。その過程におきましても、節目節目で情報を公開させていただきますとともに、貴町及び住民の皆様には丁寧にその状況をご説明をさせていただき、引き続き不安の解消に努めるとともにご意見を頂戴する場を設けてまいりたいと考えております。

何とぞ、県の取り組みにご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。